

ゼミ名（通称）	科目名	担当教員（所属学科）	主要担当科目
姉齒ゼミ	演習 II	姉齒 暁（商学科）	消費経済論

ゼミのテーマ

ゼミ生の関心に沿ったテーマ設定を行います。テーマは、生活という窓口からみた経済/社会問題全般です。特に、歴史分析を力にしながら現実の問題を見ることを重視しています。

ゼミの目標と内容

課題設定、資料収集、分析、プレゼン、討論そして論文としてまとめる力を身につけて社会に出て行ってもらうことが目標の一つです。このゼミを終えて社会に出た先輩たちは、ロ々に「会社で4000字のレポートを」「来週プレゼンを」と言われても苦しんだことはないと言っています。さらに、問題意識と想像力を有し、行動できる力を身につけることは最大のゼミの目標です。そのために学生自らが提起してテーマに関連する映画や写真展、講演会、企業見学に^{出て}かけることもあります。夏合宿では主として「体験型合宿」を行っています。夏合宿の行き先を決めるのは学生自身です。一人の提案をみんなでまじめに話し合い、取り組んでいく、そういう繋がり濃さがゼミの自慢です。



趣味：スキー1級、

好物：パウムクーヘン

その他のゼミ活動

地方の地域と連携して調査を行ったり、他大学の経済学系ゼミとの討論会、公募論文への応募なども行っています。実績：新潟県地域活性化事業2年間連続で取り組み。五泉市食育調査で3000人以上の市民を対象にしたアンケート調査と分析など。

ゼミに入る上での注意点

無断欠席・遅刻は厳禁。課題は必ずやってくるのが求められます。それだけ力がつく場所です。思いっきり勉強したい、成長したい、自分を変えたい・・・そういうゼミ生を求めています。姉齒はスウェーデンでの在外研究を終えて戻ってきます。この間、ゼミ生の募集を停止していましたが、人数が少ないところから再開することになります。

ゼミに関連して受講してほしい科目特になし

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

私たち姉齒ゼミの研究テーマは「消費経済論」となっています。しかし、研究テーマは毎年ゼミ生が決めることになっているため、実際のゼミのテーマは広範囲にわたります。昨年は「沖縄問題」を中心に学習し、沖縄へ現地調査に行きました。姉齒ゼミは厳しく、そのためゼミ員が少ないのですが、その分先生との距離も近く、ゼミ生同士も学年の垣根を超えて仲良くしています。充実したゼミ活動をおこなっています。実践的な力をつけることが出来ます。しっかり勉強したい方や仲の良い友人を作りたい方はオススメです！

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
小倉ゼミ	演習 II	小倉将志郎 (経済学科)	現代アメリカ経済論

ゼミのテーマ

アメリカは20世紀を通じ、その圧倒的な経済力と軍事力によって、政治、外交、経済、社会、文化といった様々な側面で「覇権国」として世界をリードし、強力な影響力を持ってきました。そのアメリカの存在感が近年弱まってきていると言われます。背景として、中国の経済的台頭といった外的要因や、自らの経済・軍事・外交諸政策の行き詰まりといった内的要因など、様々なことが指摘されています。そんな中、ドナルド・トランプ大統領は「Make America Great Again (アメリカを再び偉大な国にする)」と主張して2016年の大統領選に勝利しました。これは非常に重大な出来事として受け止められ、実際、トランプ政権4年間にアメリカと世界は大きく揺れ動きました。その後、



雑談が多い方のゼミかもしれません。学生の話聞くのは結構好きです。

2期目を目指したトランプ大統領は2020年11月の大統領選挙で敗北し、選挙後の紆余曲折を経て、今年1月に新たに民主党のジョー・バイデン大統領が誕生しました。果たしてトランプ元大統領は4年間で「アメリカを偉大に」できたのでしょうか？そして新しいバイデン政権の下、アメリカは、世界は、今後どのような方向へ向かっていくのでしょうか？

そんな問題意識を共有しつつ、ゼミでは現代のアメリカ経済・社会について幅広く勉強します。産業、金融、労働(移民問題含む)、社会政策(公的扶助・医療・年金)、経済政策、貿易・国際経済関係(グローバリゼーションとアメリカ)、環境、地域、人種差別等々、多様なサブテーマが含まれます。それらの中からゼミ生の関心のあるテーマをいくつか選んで学びます。今年の2年ゼミ生は、希望に従い「20世紀以降のアメリカの歴史」を勉強中です。

ゼミの目標と内容

目標はアメリカを多面的に捉えること。内容は学生が希望するテーマの文献の輪読が中心。毎回、報告者、司会者を立て、参加者全員に論点・疑問点などを提出してもらい、それらを題材に議論がなされます。演習での学びの成果は機会を見つけて発表します。

その他のゼミ活動

新歓ゼミコンパ、学生シンポジウムでの発表、他大学ゼミとの研究交流(コロナで休止中)は必須イベント。他、ゼミコンパ、ゼミ合宿などについては希望を聞いて柔軟に実施します。

ゼミに入る上での注意点

希望していただいた方全員を歓迎しますが、海外の社会や文化に興味のある方は特に大歓迎です。なお欠席回数に基づく「除ゼミ」ルールを独自に設定しています。

ゼミに関連して受講してほしい科目

現代アメリカ経済論 a, b、国際経済コースの諸科目、(留学・海外就職希望者などは)英語。

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

「学生主体の真剣な討論と和気あいあいとした雑談とのメリハリがしっかりある、先生と学生の距離が近いアットホームなゼミです！」(4年ゼミ長)。

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
田中 (聡) ゼミ	演習 II	田中聡一郎 (経済学科)	社会政策 a, b

ゼミのテーマ

社会政策の経済分析

ゼミの目標と内容

私たちが暮らしていくなかで、様々な困難に向き合わなくてはならないことがあります。病気になったり、失業したり、子育てに忙しくなったりします。そのとき、どのような社会政策が整備されているのか、経済学の観点から学びたいと思います。社会保障（医療、年金、介護、子育て支援、貧困対策等）や労働政策（労働時間規制、労働安全衛生、最低賃金等）に関心がある方や公務員志望の方が向いていると思います。



演習 1 では社会保障に関連する書籍・論文の輪読、演習 2 ではパソコンを用いたデータ分析の手法の理解、演習 3 では卒業論文の執筆を行います。

その他のゼミ活動

懇親会やシンポジウムの参加などを考えています。2021 年度の開講で若いゼミということもあり、ゼミ生の皆さんと相談しながら決めたいと思います。

ゼミに入る上での注意点

ゼミ活動では、積極的な参加が求められます。発表者だけでなく、参加者全員に発言の機会が与えられます。統計やデータ分析については、ゼミ生同士で相互に支援しながら、一緒に学んでいきたいと思っています。

ゼミに関連して受講してほしい科目

社会政策 a, b を履修すると、ゼミのテーマについて理解が深まると思います。

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

2021 年度から赴任いたしました。明るく楽しいゼミ運営をしたいと思っています（教員より）。

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
番場ゼミ	演習 II	番場博之 (商学科)	流通政策

ゼミのテーマ

流通・まちづくり・マーケティング・商業教育

ゼミの目標と内容

(2・3年同時募集)

このゼミでは、企業のマーケティング戦略、それが引き起こす問題とそれへの公的対応、地域再生やまちづくりについて研究していきます。

まず2年次では、企業のマーケティング戦略とそれによって引き起こされる問題に「気づくトレーニング」をしていきます。広告、アソートメント、景品・懸賞、立地戦略、ブランド、チャンネルなどを文献研究を通して検討し、その有効性ととも問題性を考えていきます。



その他のゼミ活動

このゼミの運営プログラムは3年間で完結するようにつくられています。2年次は、「見る・聞く・話す・調べる」を軸とした『問題発見型学習』が中心です。前半はビジネスゲームと書籍等の輪読、後半は課題研究・巡検・プレゼン・討論などを行うなかで社会科学を学ぶ上での基本的なスキルや考え方を身につけるとともに各人が研究テーマを見つけていきます。3年次は『問題解決型学習』が中心です。それまでの学習成果を前提として問題解決のための文献研究・課題研究を行い、論文を書きます。課題研究はワークショップの手法によるグループ学習が中心です。そこで取り扱うテーマは多様で、学内外のコンペ等への応募を前提に行われます。

3年次後半から4年次では、先行研究を利用しながら、それまでの各自の研究内容を検証し、より深めていく『知識習熟型学習』が中心です。具体的には、書籍・論文・地図・統計等を利用した学習となります。それと同時に全員が卒業論文の執筆を行います。卒論執筆は、『新たな課題発見の学習』といえるでしょう。なお、内容はメンバーによって柔軟に運用します。

ゼミに入る上での注意点

応募に際して学科や成績は問いませんが、様々な活動に自主的かつ積極的に取り組める人のみ応募して下さい。

なお、コロナが収束していれば、ビジネスゲーム・巡検等のためにゼミ費(月額100-200円位)を徴収し、積み立てていきます。ゼミ費は学生が自主的に管理・運営していきます。同窓会・教職・合宿・他大学ゼミとの交流、就職・進学などゼミに関わる項目は多岐にわたります。ゼミ生には体育会に所属する学生も少なくないので、部活動との両立も考慮しますが、個別事情は基本的に事前に相談下さい。ゼミ論集の閲覧も可能です。

教材は必要に応じて相談して決めます。中学校・高校の教員を目指す人は個別に指導します。

今回は2年生(新規)と3年生(追加)の募集を同時に行います。演習I(新2年生)は番場ゼミ第29期生、演習II(新3年生)は28期生となります。ゼミ運営方法はゼミ生の人数等に応じて変更になる可能性があります。授業やゼミ活動は2・3・4年合同で行うこともあります。その他、わからないことがあれば個別説明会で聞いてください。

ゼミ名（通称）	科目名	担当教員（所属学科）	主要担当科目
堀 ゼミ	演習Ⅱ	堀 龍二（現応学科）	人的資源管理論

ゼミのテーマ

営利企業が行う従業員の採用から退職までの人事労務管理の特徴とそれが社会に与える影響や問題を取り上げて分析します。非正規雇用の急増、過労死・過労自殺の常態化、少子化の進行などをみれば、従来の働かせ方、つまり企業の人事労務管理を見直すべきであることは明らかです。



プロフィール

モットー：「何事も
ほどほど」

ゼミの目標と内容

雇用、賃金、労働時間、能力開発、人事制度、労使関係といった人的資源管理の主要領域における基本知識と概念の習得を目指します。

その他のゼミ活動

教室でのゼミ活動を主体に行います。ゼミ生同士の交流は大いに奨励しますが、私自身は身体の都合で合宿や飲み会などに参加できません。あしからずご了解ください。

ゼミに入る上での注意点

演習でのメンバーの報告や私の説明において、理解しにくかったことをうやむやにしないで、その場で率直に質問する姿勢を大切にしたい。ゼミ参加への基本である積極的な発言・参加姿勢を重んじます。

なお、堀ゼミ個別説明会への参加希望者および選抜面接希望者は、事前に下記のメールアドレスにその旨ご連絡ください。hori@komazawa-u.ac.jp。

ゼミに関連して受講してほしい科目

企業経営学、現代企業論、社会政策論、労働法など。

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

堀ゼミは、とにかく、毎回本当の意味での参加を求められます。報告者は、テーマについての十分な下調べが必要で、いい加減な調べ方だと、先生から突っ込みが入ります。毎回、必ず1回は、質問なり発言が求められ、「なし」は許されません。「何事もほどほど」というのが、先生のモットーだと聞かされますが、その「ほどほど」と「いい加減」の違いが不明確なところが厄介です。でもみんな話題をこねくり回すのは、結構楽しいです。

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
堀内ゼミ	演習 II	堀内健一 (経済学科)	経済理論・資本の原理

ゼミのテーマ 現代資本主義研究—日本経済の長期停滞の分析と将来展望。資本主義社会の経済法則の理解の上に現代資本主義の発展動向を分析しています。とくに1990年代以降の日本経済の発展のありかたの大きな変化に着目しています。



ゼミの目標と内容

日本は先進資本主義国のなかでも課題先進国とよばれ、ある意味最先端を走っています。この30年ほどの国内では、名目GDPは横ばい傾向、インフレ終息、非正規雇用は40%に倍増、賃金水準は97年以降低下傾向、所得格差が2000年代以降顕著に拡大、少子高齢社会の到来といった構造的変化が生じています。海外では、中国など新興国が急成長、アメリカも経済規模は約3倍になるなか、日本の生産拠点は海外に移転、同時に国内への労働力・観光客の積極的受入も進んでいます。日本経済の構造的変化、長期停滞の諸要因は、一定の経済発展の成功と国民の平均的な消費欲望の充足にあると考えた場合、さらなる経済発展をもたらす技術革新とその生産力への応用は可能なのか、国内投資をさらに誘発できるのか、できないならどうしたらよいのかということを考えています。

そのために文献、資料の収集と読解・討論、統計データの加工・分析を行います。その過程で文献要約レジュメ、討論内容記録を作成し、グループ・個人での研究レポートを執筆します。それらの成果は、ゼミの時間はもちろんのこと、学内の「学生シンポジウム」での発表、学期末ごとの課題レポート・最終的には卒業論文の提出、卒業研究の口頭試問での討論というかたちでつみあげていきます。

その他のゼミ活動 ゼミ連のスポーツイベント、懇親会、夏合宿、新年会、春合宿など。

ゼミに入る上での注意点

このゼミでは卒業研究・卒業論文執筆を必須としています。なるべくはやく自分で解くべき問題を見つけ、それを自分の頭で考えるには、それなりの安定した心持ち、それを支える規律ある生活と社会常識が必要です。個人の自由が尊重された上で、グループ研究や合宿などでの協調性の発揮も求められます。

ゼミに関連して受講してほしい科目

経済理論・経済システムの原理(堀内担当)など経済学科配当の諸科目。演習II(3年生)では、他学科での社会経済学、金融系、会計系、経営学系統の科目。

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

とってもこじんまりしたゼミです。少人数ゆえ、丁寧な指導を受けることができ、研究の自由度も高いのが特徴。「経済学を学び始めたはいいけれど、理論ばかりでつまらない、経済ニュースの論点もつかめない」そんな思いがあるのなら、このゼミでとことん向き合ってみませんか?文献輪読では、初歩的な知識や理論はもちろん、最新の学説やリアルタイムな経済問題、視野を広げて社会問題まで議論されます。今年度のグループ研究では新型コロナウイルス感染症の流行をテーマに日本経済を分析することになりました。最初は先生からたくさんつまれることにびっくりするかもしれませんが、その分理解を深められますし、実のところ、堀内先生はとびきり愉快的な御仁です。学びたいことが定まっているあなたも、自分の興味を探し中のあなたもぜひ。(2年生、副ゼミ長M・Y執筆)

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
宮田ゼミ	演習 II	宮田惟史 (経済学科)	経済学史

ゼミのテーマ

資本主義経済の理論・歴史・現状

ゼミの目標と内容

現代社会は、長期の経済停滞や労働環境の劣化、格差拡大、金融・財政問題等多くの問題を抱えています。演習 I では、このような現在の日本や国際社会が直面している経済問題を解明するために、経済学の歴史や基礎理論を学びながら、現代の資本主義経済にたいする理解を深めます。

現実に日々生じている具体的な経済現象を理解するためには、現代社会を根本的に規定している理論や歴史の把握がかかせません。こうしたことから授業は、資本主義経済の歴史・理論と現状との両面に注意を払いながら進めています。



プロフィール

読書、スポーツ、芸術鑑賞、等々が好きです。

その他のゼミ活動

ゼミでは、毎週の授業の他に、夏合宿と春合宿を行っています。合宿では普段の授業とは異なるテーマをゼミ生で話し合って決めて発表・討論を行います。毎年、社会見学（例年、東京証券取引所や日本銀行、新聞社など）にも行っています。また、定期的に懇親会なども行い親睦を深めています。宮田ゼミでは、ゼミ生同士、教員とゼミ生との人間関係づくりを大切にしています。また、毎年サブゼミもっており、2年生は学生シンポジウムに参加し、3年生は学生奨学論文への投稿（投稿論文が受賞〔佳作および入選〕した学生もいます）なども行っています。

ゼミに入る上での注意点

ゼミでは、報告者によるテキスト（初回の授業で決めます）の発表や、新聞学習（毎回、授業開始の15～20分程度行い時事経済の理解も深めています）の資料作成が必須となります。報告者以外にもテキストをあらかじめ読むことが必要になります。また、自分の意見や疑問点を述べるができるよう準備しておくことが求められます。なお、無遅刻無欠席が原則です。

ゼミに関連して受講してほしい科目：「経済学史 a、b」、「経済理論 A/B」、「社会経済学 a、b」、等。

先輩ゼミ生からのゼミ紹介

こんにちは！宮田ゼミです。毎年、各学年 15 名程度（男女比は毎年半々くらいです）で活動をおこなっています。本ゼミでは、現在取りざたされている雇用（労働）、格差、金融問題などタイムリーな話題も扱いつつ、その根本を理解するために、歴史上重要な様々な経済学者たちの学説（アダム・スミスやマルクス、ケインズ等）を学んでいます。と、少しかたいことを書きましたが、実際は皆フレンドリーで懇親会や合宿などさわぐときはさわぐ、学ぶときは学ぶといったメリハリがついているゼミです。先生も優しく、いろいろ相談にのってくれます。大学生活を遊びだけでなく、勉学も充実させたい方、説明会や面接でお待ちしています！2020年度～2021年度は、先生がイギリス（ロンドン）に在外研究中で不在でしたが、2022年度から復活です！

ゼミ名 (通称)	科目名	担当教員 (所属学科)	主要担当科目
渡邊ゼミ	演習 II	渡邊恵一 (経済学科)	日本経済史 a, b

ゼミのテーマ

日本の経済・経営・産業を、歴史的な視点から考察しています。とはいえ、「日本経済の歴史を学ぶ」のではなく、「日本経済を歴史で学ぶ」というのが正確かもしれません。

経済には、「新しいように思えて古くからある問題」がたくさんあります。一定の期間が経過したからこそ得られる史料、データなどを分析していきます。日本史挫折者も歓迎！



プロフィール
鹿児島大学助教授などを経て2005年に駒澤大学へ。東京都出身。

ゼミの目標と内容

2～3年生合同で活動しています。毎年12月、日本経済史・日本経営史を専攻する他大学のゼミと研究成果を発表し合う「インターゼミ」を自主的に開催しています。

研究テーマは学生がアイデアを出し合って決めます。今年度は、コロナ禍のなかで浸透しつつある「食のデリバリー」について、かつて街の酒屋や米屋で行われていた御用聞きと配達、1980年代以降に企業主導で登場したピザの宅配や配食ビジネスなどとも比較しながら考察しています。学年混成のグループに分かれ、教員の助言や指導も受けながら、資料やデータの調査・収集、論文の執筆、プレゼンテーション（発表）用のスライド作成など、すべてを学生の力で進めます。箱庭のような駒澤大学のキャンパスを一步飛び出し、他大学の学生と議論したり交流したりすることは、学生時代の貴重な経験となり、就職活動の場でもきっと役に立つことでしょう。

4年生の演習Ⅲでは、卒業論文（卒業研究）の執筆が中心となります。テーマは、広い意味での日本経済史の範囲内であれば自由ですが、学生生活の集大成となる質の高い論文が書けるよう、教員が懇切丁寧に指導します。

その他のゼミ活動

授業時間だけでなく、合宿（年2回、ただし現在見合わせ中）などを含むゼミ活動全般への参加が求められます。

ゼミに入る上での注意点

数多くあるゼミのなかからどこを選べばよいのか、誰もが迷うのではないのでしょうか。少しでもこのゼミに興味を持ってもらえたら、個別説明会（オンライン）で話だけでも聞いてみませんか。ゼミ長、副ゼミ長と一緒に、お待ちしております。

研究室のホームページに出ている情報も、参考にしてみてください。

渡邊恵一研究室



先輩ゼミ生からのゼミ紹介

- ▼渡邊ゼミでは、授業内の活動の中で「質問する力」を身につけることができます。2～3年生合同でゼミを行うので先輩たちから学ぶことも多く、大学内での縦のつながりを持つことができます。インターゼミでは、研究テーマを自主的に考えることができるなど、とてもやりがいのあるゼミです。【2年生男子、N・M】
- ▼毎回の授業で全員が1回は発言するなど、主体的に勉強に取り組む姿勢が身につくゼミです。合宿など勉強以外の交流をする機会もあるので、楽しい思い出がいっぱい作れます！プライベートでも集まって遊ぶほど、学年・男女に関係なく仲が良く、穏やかな雰囲気の中で活動しています。【3年生女子、M・A】
- ▼先輩後輩の壁がなく、風通しのいいゼミです。他のゼミにはないインターゼミでの経験は、将来に役立つ自発性やプレゼン能力が培われ、就活の際にも大きな武器になります。【4年生男子、R・O】